

## 「被害の最小化・減災効果の持続化」と「被災後の市民生活の健全化」

に重点を置き、ハード・ソフト両面から防災・減災対策を推進していきます。

※ピンクの数字は、左記の課題や教訓の数字に対応しています。  
「維」が付記されている数値目標は現状の維持を目標とするものです。

### 成果

- ・133アクションのうち約9割が概ね目標達成
- ・未達成アクションや訓練など継続して取り組むべきアクションを2023へ引き継ぐ

令和4年度未達成状況			AP2023での終了・継続の別		
評価	アクション数	割合	評価	アクション数	割合
達成	116	87%	終了	68	51%
ほぼ達成	6	5%	継続	65	49%
未達成	11	8%	合計	133	100%
合計	133	100%			

### 課題

- ① 長期に及ぶ防潮堤など防御施設の整備
- ② 市民の高い防災意識の維持
- ③ 整備完了施設の機能の確保・維持
- ④ 備蓄計画の継続した検証と見直し
- ⑤ 被災者生活再建支援の体制づくり
- ⑥ 復興の事前準備

### 教訓・新たな視点

- ⑦ 要配慮者が避難を諦めないための支援 (H30.7豪雨、R元台風19号)
- ⑧ 自主防災組織の活性化 (新型コロナウイルス流行)
- ⑨ 心身の健全化のための被災後生活の質的向上 (H28熊本地震)
- ⑩ 市民や事業所における備蓄量の確保 (R4台風15号・継続課題)

## 磐田市地震・津波対策 アクションプログラム2023

### 基本理念

被害の  
最小化

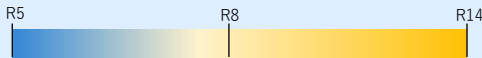
被災後の  
心身の  
健全化

デジタル  
技術

### 減災目標

- ① 想定される被害を最小化し一人でも多くの市民の命を守り、その後も減災を維持する。
- ② 被災生活の質的向上により、被災者の健康被害等の最小化を図る。

◆ 計画期間は10年間



減災効果を高めるための集中期間

◆ 93アクション



✓ ハードソフトを組み合わせた防災対策を推進

### 地震・津波から着実に命を守る

主なアクション例	R4末実績	R8数値目標	R14数値目標
① 海岸防潮堤の整備	42%	100%	100%
② 防災講座の実施	100%	100%維	100%維
② 防災ガイドブックの作成啓発	0%	100%維	100%維
② 学校・園における防災訓練	100%	100%維	100%維
③ 津波避難施設の長寿命化計画	0%	100%	100%
⑦ 要配慮者の防災訓練	39%	100%維	100%維
⑦ 避難行動要支援者名簿の更新	100%	100%維	100%維
⑧ 地域の人材台帳の整備	17%	50%	100%維
⑧ 自主防災組織の防災訓練	100%	100%維	100%維

### 基本施策①

### 被災後も命と健康を守り、生活再建に繋げる

主なアクション例	R4末実績	R8数値目標	R14数値目標
④ 避難者のトイレ整備	40%	76%	100%維
④ 避難者の食料・飲料の備蓄	72%	89%	100%維
⑨ 避難所の生活環境充実	100%	100%維	100%維
⑩ 市民の備蓄の促進	43%	67%	100%維
⑩ 事業所の備蓄の促進	71%	81%	90%維
⑤ 被災者生活再建システム導入	0%	100%	100%
⑤ 住家被害認定調査訓練	100%	100%維	100%維

### 基本施策②

### 地域を迅速に復旧し、復興に繋げる

主なアクション例	R4末実績	R8数値目標	R14数値目標
⑤ 事前都市復興計画の策定	0%	0%	100%
⑤ 遺体処理訓練	100%	100%維	100%維

### 基本施策③